



広島修道大学 ひろしま協創中学校・高等学校 学校改革の進捗状況

2024.4.1

<学校改革の進捗状況>

- 2017年7月、広島修道大学との運営協議会において、来るべき男女共学化と校名変更を見据え、本校の教育および学校運営における10か年計画「協創ビジョン10」が策定された。
- この計画は、広島修道大学附属鈴峯女子中学校・高等学校の開校年にあたる2015年から10年後までの本校の目指すべき方向性を整理した計画であり、今年度(2024年度)は、この計画期間の最終年度にあたる。
- この間、協創ビジョン10に掲げられた理念を達成するため、2020年度から学校改革に着手し、今年度で5年目を迎える。学校改革においては、7つの具体策を柱として掲げ、様々な取組に教職員とともにチャレンジしてきた。その結果、本校の進むべき方向がこれまで以上に明確になってきている。
- 次期計画の策定に向け、引き続き、教職員一人一人が生き生きと教育活動に取り組める環境を整え、全ての生徒が協創の教育を理解し、「生徒主体」の教育を実感できる学校づくりを加速させていく。

学校改革の概要

- 1_協創教育コンセプトの具体的明示
- 2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定
- 3_教職員の働き方の見直し
- 4_部活動の見直し
- 5_学校行事の在り方の見直し
- 6_広報活動の在り方の見直し
- 7_人事評価制度の導入

1_協創教育コンセプトの具体的明示

➤ 協創ルーブリック(学校ルーブリック)の作成及び評価

〔進捗状況〕

建学の精神や教育目標の達成状況を評価するために作成した「協創ルーブリック」及び「教科ルーブリック」の授業での活用について、全教員を対象とした研修会を2023年度に4回にわたって実施するとともに、2024年度は、生徒に協創ルーブリックハンドブックを配付し、生徒自身の自己評価を試みる。

(詳細は、右記リンク☆ [協創ルーブリック](#)を参照)

1_協創教育コンセプトの具体的明示

➤ **GCP(グローバル・コンピテンス・プログラム)の導入・実施**

[進捗状況]

中学1・2年生、高校1・2年生を対象として、週1時間、外国人講師によるオールイングリッシュでの授業を実施。中四国の学校では初の取り組み。

生徒一人一人が100年先の広島と世界を見つめ未来を創る人になるために本校が展開する「協創教育」の柱の一つとして、2022年度以降は「探究」を中心に教科横断型授業として実施。

[リンク ⇒ 中四国地方の学校で初の取り組みGCPとは](#)

1_協創教育コンセプトの具体的明示

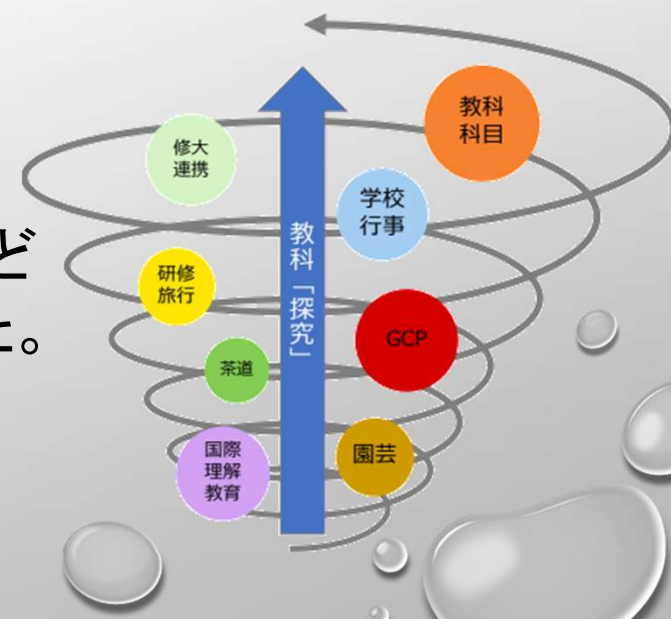
➤ 探究科において、4つの力の育成を意識したプログラムを開発

〔進捗状況〕

教科「探究」を協創教育の基幹教科と位置付け、広島修道大学と連携し、グループ単位で生徒の興味関心のある課題を設定し、主体的に解決策を探る探究活動に取り組んだ。

活動の成果は、修大教員の助言を受けながら、中学校は「探究Day」、高校は「探究成果発表会」などにおいてポスター発表やプレゼンテーションを行った。

2024年度は校内外ともに探究活動の発信をより一層増やしていく。



2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定

➤〔進捗状況〕

2021年度から研修主任を置き、年間の研修計画を策定するとともに、本校の「目指す教師像」を実現するため、毎月第3水曜日を全教職員研修日と定め研修時間を確保した。

2024年度は、教育データを活用した授業改善について研修を深める。

2021年度	11回	ルーブリック研修	人事評価制度研修
2022年度	11回	ルーブルック研修	教員・職員合同研修
2023年度	8回	ルーブリック研修 危機管理研修	教育データ活用研修 若手教員研修

リンク⇒ [☆2021～2023年度の研修実績](#)

2_教職員研修の体系化及び具体的計画の策定

➤ 日々の授業評価及び公開研修授業の実施

〔進捗状況〕

授業力向上を目指し、外部講師を招いて授業観察及び振り返りを年間を通じて実施。

2024年度は、授業観察及び評価を専門に行う教育アドバイザーを配置し、さらなる授業改善に取り組む。

➤ 生徒による授業評価の実施検討

〔進捗状況〕

2024年度に実施する教育データを活用した授業改善研修の中で実施する。

➤ 〔リンク〕

☆[2023年度公開研究授業\(2023.11.24\)](#) ☆[授業観察及び振り返り\(2023.7.14\)](#)

3_教職員の働き方の見直し

教職員の働き方を見直す上で重要な勤務時間終了後から退校するまでの在校時間の縮減策を講じる。

➤一斉退校日の設定

〔進捗状況〕

毎月第3水曜日の午後を「校内研修日」と定め、研修終了後は一斉退校とした。

限られた時間内で効率よく業務を行うことをめざし、教職員の完全退校時刻を19時30分に設定

➤下校時間の見直し

〔進捗状況〕

2021年11月から、生徒の完全下校時刻を年間を通して18時30分とした。

なお、生徒の「自走」を促すため、LRC及びスタディホールでの自学・自習は19時30分まで可とした。

➤時間外勤務の在り方を見直し

〔進捗状況〕

労働基準監督署の指導を踏まえ、教職員が生き生きと活躍できる職場を目指し「ひろしま協創中高のこれからの新たな働き方」を策定し、これに基づき取組を開始。

4_部活動の見直し

➤ 部活動顧問希望アンケートの実施

〔進捗状況〕アンケートを実施し、教員の希望を踏まえ顧問を決定

➤ 一斉退校日の設定

〔進捗状況〕平日1日の休養日を確保

➤ 土日部活動完全休養日の設定

〔進捗状況〕 土日、いずれか1日は完全休養日として確保

➤ 特殊業務手当額の見直し

〔進捗状況〕

給与規程を改正し、休日に校内で行う部活動指導業務は2021年4月から、平日に校内で行う部活動指導業務は、2021年11月から手当を支給。2024年度よりこれら特殊業務手当額を増額改定

5_学校行事の在り方の見直し

学校行事の見直しについては、WGでのまとめをもとに、改めて教育活動全体を見直し、各行事の意義付けを明確にしながらか次のとおり実施する。

〔1学期〕

・遠足（4月） [リンク⇒](#) [・高校1年生遠足](#) [・高校2年生遠足](#) [・高校3年生遠足](#)

・文化祭（6月） **運営は、生徒が中心となって行われた。**

[リンク⇒](#) [2023年度文化祭](#) [2022年度文化祭](#) [2021年度文化祭](#)

〔2学期〕

・体育祭（10月） [リンク⇒](#) [9/29実施（サンプラザ）](#)

〔3学期〕

・クラスマッチ（1月）、協創コンテスト〔新設〕（3月）

協創コンテストとは、1年間の様々な学習活動の発表の場とし、個人、クラス、学年等の部門を設定。生徒自治会が主導して開催し、優秀者（個人及び団体）を表彰する（協創賞を活用）カルタ大会は教科内で、弁論大会、合唱祭は実施する他の行事の中で代替する。

〔進捗状況〕 2024年2月21日、生徒が主体的に参加する協創コンテストを実施

[リンク⇒](#) [協創コンテストの様子](#)

6_広報活動の在り方の見直し

①オープンスクール

本校の魅力を直接伝えられる場であり、前日の周到な準備に時間を要することから、日曜日の開催とした。

2023年度第1回中学校オープンスクール 2023年度第2回高校プチオープンスクール

②地域相談会, トワイライト説明会, 中学校, 塾対象説明会

一定の参加者があることから需要はあるため継続して実施する。その際、企画広報部員だけに負担がかからないよう、全教職員で取り組む。トワイライト説明会は、個別ではなくミニ説明会的なものとした。

③小学校・中学校・塾訪問

本校への入学者出身中学校や通塾の傾向を分析し、訪問する学校、塾を選定した。

④新聞広告, 駅看板, 情報誌広告, ホームページ等の広告

新聞広告, 駅看板, 情報誌の広告は行わず、HP, SNSに特化した広報を実施した。

7_人事評価制度の導入

〔進捗状況〕

コアネット教育研究所の協力のもと、2021年3月29日にキックオフ・ミーティングを開催して以降、校務運営会議の教職員18人で構成するプロジェクトチームによる11回の会合を経て2021年10月に「キャリアアップ・システム」を策定した。また、事務職員版「キャリアアップ・システム」も2022年1月に完成した。

完成したシステムに基づき、年度当初に校長が示した事業計画を実行するため、各教職員が職位に基づく目標を立て、各々の取組を実施している。

〔下記リンク参照〕

☆組織として教育力を最大限にするために(教員)

◆キャリアアップ・システム(教員)

☆車の両輪として(事務職員)

◆キャリアアップ・システム(事務職員)

ひろしま協創中高の「めざす教師像」

生徒の成長のために、共に学び続ける先生

協創力 (認め合い 深め合い 高め合う力)

- ・利他の心
(多様性を認める、個性を伸ばす)
- ・コミュニケーション力
- ・地域とつながり協働する力

進路支援力

- ・生徒の適性を伸ばす
- ・的確な情報の提供
- ・自己実現への支援

学習支援力

- ・幅広い教養
- ・高い専門性
- ・確かな授業力

人間力 (高い使命感・高い倫理観・旺盛な向上心・謙虚な姿勢)

ひろしま協創中高の「めざす職員像」

生徒の成長のために、共に教育を創る職員



人間力(高い使命感・高い倫理観・旺盛な向上心・謙虚な姿勢)

校長メッセージ

～本校の誇る先生方へ～

「人生意気に感ず」

これは私の座右の銘であり、40年近くも大切にしてきた言葉です。

「人は利害や打算で行動するのではなく、相手の潔い心意気に感動して動くものだ」という意味です。これまであまたのご縁をいただき、あまたの方々に支えられて生きてきました。すべての方に心から感謝です。

こうして協創教職員のみなさまとご縁をいただいたことも同様です。

私たちは、教育者として目の前の生徒に「この人に出会えて良かった」と言われるような存在にならなくてはなりません。そのためには何が必要でしょうか。それは、「協創（認め合い、深め合い、高め合う）」するチームとして、教職員相互の支援によって成長していくことに尽きるのだろうと確信します。

そして、教職員的心意気によって生徒が感化され、成長を遂げていく、そんな学校となることを心から願っています。

校長 白岩博明